

～ 水道事業 100 周年記念事業の主な取組一覧 ～



100 年の歴史と未来への使命を象徴するロゴマーク

取組名	実施内容
南城浄水場説明看板設置	事業創設時から現存する浄水施設を紹介する看板を設置
記念碑設置	100 年の歴史の象徴としてガス水道局庁舎前に記念碑 1 基を設置
記念消火栓設置	積み重ねてきた水道事業の歴史を象徴する記念消火栓 1 基を設置
記念誌制作	100 年の歴史と歩みを記録し、その足跡を後世に伝える記念誌を制作
ロゴマーク制作	100 年の歴史と未来への使命を象徴するロゴマークを制作
ボトルウォーター製造	水道水のおいしさを PR するため、城山浄水場の水道水を詰めたボトルウォーターを製造
ガス水道だより特別号	100 年の歴史等を紹介する「ガス水道だより特別号」を発行
給水機設置	当市の水道水の品質や安全性を PR する給水機 1 基を高田城址公園オーレンプラザ内に設置予定
ガス水道フェア	水道事業の関心を高める取組 ・ガス水道局のお仕事体験 ・塗り絵 ・水に関する実験会 ・歴史パネル展
感謝状贈呈	水道事業に貢献された方々へ感謝状を贈呈

point 07 水道事業 100 周年記念事業

令和 8 年 6 月に水道事業が給水開始から 100 周年の節目を迎えることから、記念事業を実施するための予算案が提案されました。

●予算額：797 万円

■ 議員の Q & 市の A ■

Q 主な取組は何か。

A 高田城址公園内に、積雪に対応した背の高い多雪型の記念消火栓を 1 基設置する。また、水道水のおいしさを PR するため、城山浄水場の水道水を使用した 500 ミリリットルのウォーターボトルを製造し、各種イベントで配布する。さらに、100 年の歴史を象徴するロゴマーク入りのマグネットステッカーを製作し、ガス水道局の公用車 66 台に貼付して、広報活動に活用する。

point 08 自転車の交通安全

市民の交通安全に対する意識の向上を図るため、年代に応じた教育、啓発活動を実施する予算案が提案されました。

●予算額：976 万円

■ 議員の Q & 市の A ■

令和 8 年 4 月から 16 歳以上の者による自転車の一定の交通違反に対して、交通反則通告制度（青切符）が適用されました。

Q 対象となる高校生への指導や啓発活動をどのように行っていくのか。

A 高校にチラシを配布するなど、警察署や交通安全協会と連携しながら啓発を行っていく。

《 自転車安全利用五則 》

- ・車道が原則、左側通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ・交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ・夜間はライトを点灯 ・飲酒運転は禁止
- ・ヘルメットを着用



point 04 棚田米販売促進事業

棚田の持つ価値や魅力をいかした販売促進等により、中山間地域における農業所得の向上と棚田の維持・保全・活用による地域活性化を図るための予算案が提案されました。

●予算額：162 万円

■ 議員の Q & 市の A ■

Q 棚田米のロゴマークシールは棚田で生産された米を対象としているが、配布方法等について聞きたい。

A 市へ個別に申し出のあった棚田の生産者に、行政の管理の下で希望数を配布する。また、米袋に印刷するなど、個人販売でも利用しやすいデジタルデータでの提供準備も進めている。



point 06 ユニバーサルデザイン指針に基づくトイレ改修

あらゆる障壁のない誰もが安全・安心で快適に暮らせるまちの実現を目指すための予算案が提案されました。

●予算額：190 万円

■ 議員の Q & 市の A ■

Q ユニバーサルデザイン指針に基づく施設修繕に関連して、令和 8 年度に行うトイレの改修に併せて、人工肛門、膀胱の人のためのオストメイト対応設備等を取り入れてはどうか。

A ユニバーサルデザイン指針の中に推奨事項として入っているため、今後も設置を推進していく。



上越市では、「人にやさしいまちづくり」を進めるため、ユニバーサルデザインの普及・啓発活動に取り組んでいます。市民が互いに理解し、協力しながらユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくりを進めていきましょう。

point 03 子どもの学習・生活支援事業

所得の少ない世帯の児童等が抱える特有の課題に対応し、学習支援や基本的な生活習慣の習得支援、食事の提供等を行い、生活の向上を図るための予算案が提案されました。

●予算額：1,595 万円

●対象者：就学援助制度を利用する世帯の小学 4 年生から中学 3 年生までの児童等

■ 議員の Q & 市の A ■

Q 事業の成果や課題をどのように捉えているか。

A 児童生徒や保護者からは、成績の向上につながった、子どもの成長や変化を感じられた等の回答があった。課題としては、教育実習と重なる時期における学生講師の確保が難しいことが挙げられる。



point 05 牧中学校・雄志中学校の統合

令和 9 年 4 月に予定する牧中学校と雄志中学校の統合に向け、雄志中学校の改修工事等を進めるとともに、統合前から学校間の交流を促進し、円滑な移行を図るための予算案が提案されました。

●予算額：1 億 3,670 万円

■ 議員の Q & 市の A ■

Q 円滑な移行のために、どのような準備を行っているか。

A 令和 7 年度から生徒の交流活動を始めたほか、テストのやり方等について、両校の先生が話し合いを重ねるなどしている。

